

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第2回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・旧高土スポーツ広場（旧高土中学校跡地）の活用策について

(2) 協議事項（公開）

・地域活性化の方向性について

3 開催日時

令和5年5月18日（木）午後6時30分から午後8時5分まで

4 開催場所

高土地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木正紘（会長）、井澤裕一、上野秀平、玄蕃郁子、高橋清司（副会長）、
田中利夫、塚田春枝、日向こずえ（副会長）、松山公昭（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青木会長】

- ・挨拶

【山崎主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務める

ことを報告

【青木会長】

- ・会議録の確認者：井澤委員

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」に入る。事務局から説明を求める。

【山崎主事】

- ・広場活用に向け、芝生や花壇等の具体的な配置の検討を依頼

【青木会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【小林所長】

- ・グループワークの班分けについて説明

— グループワーク（約30分間） —

【小林所長】

時間となったため、各グループから発表願う。

【日向副会長】

私が参加したグループの発表を行う。

- ・入り口に花壇を作る。
- ・駐車場の手前の左側の広場に桜を植える。
- ・駐車場はそのまま残す。
- ・駐車場からグラウンドに降りた場所の広場に芝を植える。
- ・その広場に可動式の東屋を2つ設置する。
- ・昔自転車置き場があった辺りにアジサイを植える。
- ・昔のようにグラウンドの周りに桜を植える。
- ・ソメイヨシノより八重桜を植えたい。
- ・いずれ芝を植えるとしても今のところグラウンドはそのまま残す。
- ・グラウンドにトラックを引く。
- ・草が生えないような対策を取る。
- ・このままの状態でもグラウンドゴルフはできる。
- ・ゲートボール場は市内に一般的にあるので、そこまでは考えなくてよい。

以上である。

【上野委員】

私が参加したグループの発表を行う。

- ・水やり不要の花や木を植える。
 - ・先ほどの班と同じように、入口正面に花壇を作る。
 - ・入口右側に菖蒲やアヤメを植える。
 - ・通路沿いには背の低いスイセンやコスモスを植える。
 - ・駐車場の左側の芝生部分にスイセンやコスモスを植える。
 - ・グラウンドに降りる部分の段差が危ないので、ツツジかアジサイを植える。
 - ・先ほどの班と同じように、駐車場からグラウンドに降りた場所の広場に芝を植える。
 - ・駐車場からグラウンドに降りる傾斜に防草シートを張って、穴から植栽する。
 - ・グラウンドの周りに木を植える。
 - ・将来的にはグラウンドも芝生にしたいが、今回の意見書ではこのままにしておく。
- 以上である。

【小林所長】

今ほどの発表をまとめると、4つの共通点があったと思う。

1つ目は、入り口に花壇を作るということ。

2つ目は、駐車場からグラウンドに降りた場所の広場に芝を植えるということ。

3つ目は、駐車場の右側の部分にアジサイを植えるということ。

4つ目は、グラウンドはこのままにしておくということである。

多目的に利用できる広場として、今のところは何も構わないが、ゆくゆくは芝生を植えて利用価値を高めたいということが共通していたと思う。

そのほか、最初のグループでは桜の木を植えたいという意見があり、後のグループでも木を植えたいという意見が出ていた。

そう考えると、皆さんの意見は随分まとまってきているという印象を受けた。

今ほどの発表に対して、他の委員から意見等あるか。

(発言なし)

駐車場については今の状態でおそらく45台は入ると思う。45台入れば、イベントの規模としては中程度のものができると思っている。

先ほど東屋という意見が出たが、どのようなイメージか。

【松山委員】

日影ができるように、パラソルのようなものを設置するイメージである。

【日向副会長】

日影があったほうが利用価値が高まる。簡単なものでよい。

【小林所長】

可動式ということか。

【松山委員】

本来はずっと置いておきたいが、冬期の管理もあるので、本来の東屋というよりパラソルのようなもので日影を作るというイメージである。

【上野委員】

こちらのグループでは、玄蕃委員のアイデアでU字管を反対に置いて椅子のようなものを作ってはどうかという話があった。

【玄蕃委員】

日影が欲しいとなれば、木陰に入っただくことでどうか。

毎年この季節になったら何かしなければいけないというのは、次の世代に引き継いでいくことを考えると、多分続かないと思う。

一度手をかければ、放っておいても毎年必ず花が咲くとか、水やりもいらぬとか、無理なくいつでも撤去できるものがよいと思う。

【塚田委員】

確かにパラソルのような簡易なものは風で飛ばされる心配があるし、恒久的なものは雪の心配や将来の管理の負担がある。木があれば木陰に入っただくことでよいのではないかと思った。

【小林所長】

やはり安全面を考えると基礎くらいは打ったものでないと危ないと思う。

【松山委員】

本来は何もいらぬと思っている。それでも皆が集まるとなれば、腰かけたり休んだりできる場所が必要だと思った。

U字管を逆にするという発想は、確かに簡単で良いと思った。

【高橋副会長】

こちらのグループでは、駐車場が足りなければ、今の駐車場の手前の左側の広場にも車を停められるという話が出た。ここも芝生にしてはどうか。

【小林所長】

まとめると、両グループの共通点は皆さんが合意に至っている部分だと思うので、決定にしたいと思う。

そのほかのアイデアについては、ひとまず今日のところは持ち帰って、一つの地図にまとめてみるので、次回その中から不要なものは削るという作業を進めたいと思う。

【青木会長】

本日いただいた意見は、事務局を含めてまとめ、次回お示しすることになると思う。

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務局から説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料1に基づき前回の意見を報告
- ・資料2に基づき修正案を提案

【小林所長】

- ・補足説明

【青木会長】

まず5つの構成要素について意見を求める。

「高士ルミネを継続・発展させながら、高士の良さと魅力を引き出す」「PTAや高士ルミネを始めとした若い人の活動を地域ぐるみで支援・協力し、高士の良さと魅力を引き出す」この2つについて意見を求める。

【松山委員】

高士ルミネという具体的な名前が出てきているが、今後もイベントを続けてくれるのか。実際に具体的な話は聞こえてきているか。

【青木会長】

個人的に申し上げるが、若い人を中心に発足したイベントで、年齢的にもまだまだ継続性があると思う。新たな若い人や振興協議会のメンバーも引き入れて、もっと活動を広げて人を育ててほしいと個人的には期待している。

【松山委員】

団体の方々が一生懸命やってくださっているのが、これからも継続してもらえるのか

分からない。また、PTAはいずれ無くなってしまう。皆さんの意見を聞きたい。

【玄蕃委員】

私も似たようなことをふと考えた。

テーマに掲げるということは残っていくものなので、ある程度確証のあるものを載せなければいけないと思う。

ルミネもあと3年か4年後には補助率70%で事業展開していかなければいけなくなる。ルミネの皆さんに対して、勝手に私たちが「続けていく」と書いてしまっているのかと思った。

2番目の若者の活躍についても、「PTAや高士ルミネを始めとした」と書いてあるが、例えば消防団にも若い人がいるし、地域の若い人たちの活動は案外ほかにもあるのではないかと思う。

そのため、前は具体性がないと言ってしまったが、逆に具体的にするとそこだけが走ってしまうような気がする。この2番目については、私は無くてよいと思う。

【青木会長】

確かに、これを見てルミネの人たちは重く感じるかもしれない。その辺はもう少し検討する必要があるかもしれない。

【松山委員】

3つ目に「今ある地域行事や組織運営」とあるが、ここでそのほかの団体のことに触れているので、私はこれで良いと思う。

ただ先ほどから言っているように、高士ルミネの団体に丸投げしていいのか、そこが気になっている。

【高橋副会長】

丸投げという感じではないが、今高士地区として外にアピールできる活動といえば、高士ルミネであり、皆さんに知られているイベントである。

逆にここに名前が出るということになれば、実行委員の皆さんと今後のことについて意見交換や要望を聞いたりして、地区のルミネとして盛り上げていきたいと思う。そのため、あえて高士ルミネの名前を挙げたと私は考えている。

【上野委員】

高士ルミネは地区外に発信している行事である。高士の良さと魅力を引き出すためには、やはり高士ルミネは必要なものだと思う。

先ほど、実行委員会に丸投げしてしまっていていいのかという話も出ていたが、あのイベントは各団体や住民が協力して成り立っているイベントだと思う。

したがって「高士ルミネ等」とすれば、地区の行事も含められると思う。「高士ルミネを中心とした」という記載でもよいと思うが、地区内外の人たちがどれだけ楽しみにしているかを考えれば、高士ルミネという言葉は消してはならないと思う。

【青木会長】

ルミネを消さず、上野委員から提案のあった修正案を基に、事務局から上手くまとめていただきたいと思うがどうか。

【松山委員】

私は反対しているのではない。高士ルミネの人たちだけを取り上げているように思ったので、それだけではないということを皆に知ってもらえればそれでよい。

【塚田委員】

もう少し地区の皆さんが参加・協力できるような仕組みを作っていかなければいけないと思う。今までは実行委員会の人がやっているのを見ていただけだが、もっと皆に動員をかけるとか、もっとボランティアに参加してもらえるようにすれば、丸投げという印象が払拭されるのではないかと思う。

【青木会長】

確かに最初は若い人たちのグループで独自にやっているように見えたが、今後の継続性を考えた時に振興協議会としてもできるだけ手伝いたいということで、今ではいろいろな協力があって継続されている。それをもっと活発化していくことが必要だと思う。そのようなこともここに入れられたらよいと思った。

事務局から上手くまとめていただけるか。

【小林所長】

事務局としては、この場でもう少し意見をまとめていただかないとまとめることが難しい。

【松山委員】

「高士ルミネ等」にすれば問題ないと思う。PTAもこのままでよい。

【青木会長】

ほかに意見はあるか。

【小林所長】

高士ルミネの後に「等」を付けるという具体的なアイデアを始め、そのほかにも意見があったので、事務局だけでなく正副会長を交えて一度預かることとし、次回皆さんにお示ししたい。

【玄蕃委員】

1番目の「高士ルミネ」と2番目の「若者の活躍」を一つにまとめてはどうか。「高士ルミネ」を強調してしまうと、団体の方に責任が行ってしまう。

あまり表に出さなくても高士ルミネという言葉を出していいのであれば、「若者の活躍」を1番目にして、高士ルミネを前に持ってきて「高士ルミネやPTAを始めとした若い人の活動を地域ぐるみで支援・協力」としてはどうか。1番目と2番目が一緒になっても若者を支援するということには変わらない。

高士は春夏秋冬の祭りやイベントを通して交流しながら、若者が力を出してくださっている。ルミネの印象が強すぎるのが少し心配だった。

【青木会長】

玄蕃委員の意見も納得できる。

【玄蕃委員】

構成要素は5つなければいけないのか。

【小林所長】

5つという決まりはないので、4つでもよい。

【青木会長】

その辺も含めて事務局と正副会長で協議する。

次に「新たな発想」「次世代へつなぐ」「旧高士スポーツ広場」の3つについて意見を求める。

(発言なし)

異論が無いようなので、この3つについては案のとおりとする。

(よしの声)

最後に、全体テーマ「今ある資源を最大限に活用し、高士の良さと魅力を引き出す」について意見を求める。

(発言なし)

案のとおりとしてよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：6月15日（木） 午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室
- ・ 内容：自主的審議事項
その他、何かあるか。

【井守副所長】

- ・ 地域自治の推進に向けたヒアリング調査の協力について説明

【高橋副会長】

- ・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。